

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-129771
(P2019-129771A)

(43) 公開日 令和1年8月8日(2019.8.8)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C 1 2 P 7/10 (2006.01)	C 1 2 P 7/10 Z A B	4 B 0 6 4
B 0 9 B 3/00 (2006.01)	B 0 9 B 3/00 3 0 4 Z	4 D 0 0 4
C 0 8 L 97/00 (2006.01)	C 0 8 L 97/00	4 J 0 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願2018-15612 (P2018-15612)
(22) 出願日 平成30年1月31日 (2018.1.31)

(71) 出願人 598015084
学校法人福岡大学
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(74) 代理人 100099508
弁理士 加藤 久
(74) 代理人 100182567
弁理士 遠坂 啓太
(74) 代理人 100197642
弁理士 南瀬 透
(72) 発明者 戸▲高▼ 昌俊
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内
(72) 発明者 重松 幹二
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 セルロース含有材料の製造方法およびバイオエタノールの製造方法、ならびに、リグニン含有グリセリンおよびその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 環境負荷が少ないセルロース含有材料の製造方法およびバイオエタノールの製造方法を提供する。

【解決手段】 脂肪酸類と溶媒と木質原料とを含む混合液を加熱して、前記木質原料に含まれるリグニンを前記溶媒中に抽出する脱リグニン工程(A)と、前記脱リグニン工程(A)後に、前記木質原料から抽出されたリグニンと前記脂肪酸類と前記溶媒とを含む溶液と、セルロース含有材料とに分離する固液分離工程(B)とを有し、前記混合液が、前記溶媒100質量部に対して、前記脂肪酸類を10質量部以上100質量部以下含むものであるセルロース含有材料の製造方法。

【選択図】 図1

